

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第6号

令和7年10月2日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

2学期も1か月が経ちました。充実した日々（充実の秋）を過ごせていますか。今回は「読解力」について考えてみたいと思います。「誰でも読めばわかるはずの文章」を読むことができているでしょうか。今回は問題を解きながら考えてみましょう。教科書をきちんと読めていますか？先生が話している内容を100%理解できていますか？

シン読解力 新井紀子著 東洋経済新報社の中から、いくつか紹介します。

1. 幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名は沿岸の警備を命じた。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。

中学生の正答率は、57%。

2. 1990年から2010年にかけて、世界全体では毎年平均約700万haの森林が失われた。2010年現在、地球には、全陸地の31%をしめる森林がある。

上記の文に書かれたことが正しいとき、次の文に書かれたことは正しいか。

「正しい」「まちがっている」「判断できない」のうちから答えなさい。

1990年当時、地球の全陸地の70%以上が森林ではない部分だった。

全体正答率は、49.8%。

3. ガソリン車からEVへの大転換「EVシフト」は、自動車部品の製造に欠かせない工作機械にとって、EV部品の増産に向けた設備投資や、新たな加工に対応するための機械更新といった大きな需要が期待できる機会だ。

この文脈において、次の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちからひとつ選びなさい。

大きな需要を期待できるのは（ ）である。

① EVシフト ② 工作機械 ③ EV部品の増産 ④ 設備投資

大人の正答率は24.4%。中学生の正答率は6.6%。高校生の正答率は20.0%。

答は以下の通りです。

1. 「異なる」
2. 「まちがっている」
3. ②

この本には、「読めるは才能ではなくスキル(努力や訓練によって習得できる能力)である」と書かれています。どう考えますか？

習得できる能力だと考えます。スキルの身につけ方は人それぞれです。人の話や文章をきちんと読めているのかどうかを意識したり、確認したりするだけでも違うと思います。

また、次のようにも書かれています。

子どもが学校の「お知らせ」を読み飛ばして忘れ物をしたり、算数の文章題で問題設定からかけ離れた式を書いて 50 点を取ってきたとき、あるいは、部下が手順書の一部を勝手に省いたり、指示した提出物がいくつか欠けていたりしたとき、何と言って注意しますか？

「もっと、ちゃんと、しっかり読みなさい」と言いませんか？そうなんです。誤読しようがない説明文を誤読した人にできるアドバイスは「ちゃんと、しっかり読みなさい」以外、実は存在していないのです。

トレーニング法も載っていますがここでは省略します。

本を読めば、知識が増え、思考力が向上すると言われていますが、読解力が身につくものでもありません。「読み切る力」を身につける必要があるのです。魔法のような方法はありません。

***授業を大切にし、先生の話していることを 100%理解しているか**

***グループワークの時に友だちの話している内容を 100%理解しているか**

***教科書を読んだ内容が 100%理解できているのか**

など、一つ一つ確認しながらスキルを身につけていくしかないのです。

分からないことを分からないままにしないで、一つ一つ理解していくことが重要です。

地道な努力を重ねて、読解力をつけましょう！そして、A I の情報を鵜呑みにせず、A I を使いこなせるようになり、これからの時代をたくましく生き抜いていきましょう！

10 月 25 日(土)に結翔祭（3 年生全員による探究活動(論文)の発表会）があります。

今年度からの新しい試みです。

つばさホール・教室でのプレゼンテーション、体育館でのポスターセッションがあり、楽しく学べます。是非、生徒の発表を聞いて、感じたことを生徒に伝えてください。そこからより深く探究することができます。

中学生とのつながりも大切にしたいです。多くの方の来校をお待ちしております。